

平成 25 年度（2013 年度）
吹田市立図書館点検・評価報告書

平成 27 年（2015 年）3 月 31 日

吹 田 市 立 図 書 館

この点検・評価報告書は、図書館法（昭和25年4月30日法律第118号）第7条の3に基づき、吹田市立図書館の運営の状況について自己評価を行うとともに図書館協会の外部評価をいただき作成し公表するものです。

吹田市立図書館は、「吹田市立図書館基本構想」（平成25年4月策定）を策定し、平成25年度（2013年度）から10年間の図書館活動の指針を明らかにしています。その第2章3のサービス計画の中で3つの基本目標を設定しています。この基本目標に沿って作成したアクションプラン（別表）の課題と各事業について自己評価と外部評価を行います。

吹田市立図書館の3つの基本目標

基本目標 1 地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

基本目標 2 生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

基本目標 3 子育てや学校の支援を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。

評価の基準

- A 計画どおり取組みを実施し、目標を上回る成果があった。
- B 目標どおり取組みを実施し、一定の成果をあげた。
- C 取組みを実施したが、十分な成果をあげることができなかった。
- D 実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。

この基本目標とその取組みごとに、図書館の自己評価をするとともに、図書館協会より外部評価を得るものとします。

〔凡例〕

※文中網掛け部分は、「平成25年度（2013年度）吹田市立図書館の基本方針と目標」【主な事業の計画】に掲載しているものです。

※文中、表に示している図書館名は次のように省略しています。

中央図書館→「中央」、千里図書館→「千里」、千里図書館北千里分室→「北千里」、さんくす図書館→「さんく」、江坂図書館→「江坂」、千里山・佐井寺図書館→「ちさと」、千里丘図書館→「千里丘」、山田駅前図書館→「山駅」、山田駅前図書館山田分室→「山田」

基本目標 1

地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

1 図書館施設及びサービス網の整備

(1) 中央図書館の充実

ア 中央図書館の整備計画策定を目指し、関係部署との調整を図る

市の施設の維持管理と適正化を目指した吹田市公共施設最適化計画推進委員会作業部会において老朽化した図書館施設の見直しなど再整備の議論を始めました。

イ 新・中央図書館建設時に書庫機能の整備を図る

(2) 図書館利用不便地域の解消

ア 岸部地域への施設整備を行い図書館サービス網の完成を図る

吹田操車場跡地での図書館建築に向けて協議を行いました。条件等が整わず今後適地の選定を続けることになりました。

イ 自動車文庫の駐車場所の見直し等

平成24年度の千里丘図書館開館に伴う駐車場所の見直しで7か所を廃止し、巡回ルートの見直しなどを行い、小中学校への「もうよんだかなセット」の配達及び回収や、ごりまる便、ごりまる学校訪問を開始しました。

(3) 図書館の広域利用促進

ア 北摂地域全体の広域利用システムの検討

(ア) 豊中市（試行）

利用の均衡を目指し、平成25年4月から豊中市、吹田市の広域利用ができる館を各市1館ずつ増やし、互いに4館ずつとしました。引き続き試行しています。

豊中市との広域利用統計				
	平成24年度		平成25年度	
	延利用者数（人）	貸出冊数（冊）	延利用者数（人）	貸出冊数（冊）
豊中市民利用	5,014	11,312	6,698	19,388
吹田市民利用	10,425	30,466	11,594	33,063

イ 大阪市との広域利用

既に大阪市の図書館は、吹田市民の受け入れを行っているため、大阪市民がさくすく図書館を利用することができるよう協議を行いました。

※平成26年度7月から実施しました。

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価
C

〔成果〕 広域利用については、豊中市との関係では、利用できる図書館を相互に1館ずつ増やすことにより、両市の市民利用が、利用者、貸出冊数ともに増加しました。また、大阪市との協議を実施し平成26年度実施に向けて取り組むことができました。

〔課題〕 岸部駅前での図書館整備に向けて関係部署との協議をしましたが、実現にいたりませんでした。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価
C

〔成果〕 中央図書館整備策定について議論が始まったことを第一歩として期待したい。自動車文庫「ゆめぶんこ」の役割は市内全域サービスの面で重要です。千里丘図書館の開館により、駐車場所の見直しを行い“ごりまる便”の更なる活用を始めたことは、学校連携の上でも評価したい。

〔課題1〕 全域サービスの中で岸部地区、北千里地区の整備の努力を継続して欲しい。

〔課題2〕 岸部地域の整備の遅れが非常に残念です。早期の進展を期待します。

2 利用促進

(1) 年間貸出冊数の目標達成

平成25年度貸出点数			
実績	3,483,440点	目標値	約356万点

平成34年度末に人口一人あたり12点を目標に掲げ、約432万点の貸出を目指しています。平成25年度の目標は、約356万点で目標への達成率は97.8%でした。

(2) 広報・広告事業の推進

ア ホームページコンテンツの充実と Twitter や Ustream の利用で情報発信機能の向上を図る

公式アカウントによる「Facebook」「Twitter」での情報提供を4月から開始しました。

イ 広告事業や寄付金募集事業などで地域経済の発展に寄与し資料の充実を図る

(ア) 地域経済の活性化を目的として、平成24年度から図書館の資料を貸し出す際に発行する貸出レシート及びホームページに民間企業等の広告を掲載する事業を実施しました。

広告事業推移		(件数)
	平成24年度	平成25年度
レシート広告	1社11か月分	4社11か月分
バナー広告	1社2か月分	2社9か月分

(イ) 平成25年度には広告付きブックスタート用の袋の提供事業者募集を行いました
が、条件の折り合いがつかず応募にいたりませんでした。

(3) 足を運べない人へのサービス

ア 郵送貸出の実施

検討できていません。

イ 電算システム更新時に電子図書の導入を行う

平成24年度から図書館のホームページのリンク集に「電子図書館事始め」として、国会、大学、専門機関等が作成している電子図書の世界を案内しています。また、電子図書導入に向け職員の外部研修を実施しました。

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

〔成果1〕「Facebook」「Twitter」での情報提供を実施することができました。

〔成果2〕 広告事業については、前年より収益がアップしました。掲載企業は地元企業が
多く地元企業のPRにつながりました。

〔課題1〕 貸出目標点数にはわずかに足りませんでした。千里図書館や千里丘図書館の新しい施設の整備に伴い視聴覚資料を含め二つの図書館で前年度比約38万点(※)の伸びを示しましたが、その反面既存館では約24万点減少したことが影響しています。新規利用者の開拓と図書の紹介など読みたくなる仕組みづくりが不十分でした。

※前年度比約38万点の伸びの内、約32万点は千里丘図書館の増加分。平成24年度は1月開館のため3か月間の利用実績のため平成25年度は大幅に増加しています。

〔課題2〕 広告付きブックスタート用袋の提供については、企業の参加意欲が増すような条件提示をする必要があります。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

〔成果1〕年間貸出冊数については、わずかに目標に達していませんが、前年度より増加したことは評価できます。

〔成果2〕ホームページが大変シンプルで見やすくなりました。情報が盛りだくさんで図書館の積極的な姿勢が見えます。「Facebook」等がスタートし、発信がスピーディで親しみやすい。写真入りで事業の内容がわかりやすい。“すいぼん”（※）も活躍しています。

※“すいぼん”は平成25年（2013年）4月1日から実施した「Facebook」と「Twitter」のアイコンのイメージキャラクターとして誕生しました。今ではWeb上から飛び出して図書館のキャラクターとして活躍しています。（事務局注）

〔課題〕レシート広告、バナー広告、ブックスタート用袋の提供推進をもう少し働きかけて欲しい。民間事業者も公共図書館と広告という点があまり結びついていない実情なので、図書館側から積極的な働きかけをしないと成果もあらわれないだろう。時間をかけて拡大して欲しい。収入という利点は小さくなくても、ビジネス支援にも結び付く図書館のイメージづくりになります。

3 資料と情報の提供

（1）成人サービス

ア 読書情報の提供（おすすめ本やパスファインダー等）

読書の楽しみを知ってもらうために各館で特設コーナーを設置しました。設置に合わせて、リストの作成などを行いました。9月から「Twitter」による図書の紹介を行いました。

イ 各種図書館講座の充実と文化行事の実施

平成25年度成人向け講演会等行事参加人数			
実績	2,476人	目標値	1,200人

※リサイクルフェアを除く

【成人向け講演会等行事参加人数内訳】

	中央	千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	計
回数	20	11	10	13	14	3	10	81
人数	195	158	101	859	819	87	257	2,476

ウ 読書会の開催等による新規利用者の獲得

利用者参加型の行事を企画実施しました。中央図書館では成人向けビブリオバトル

を実施しました。テーマは「歴史」で29名の参加がありました。また、「感動を伝えるどくしょ伝言板～コメント選手権」を行いました。

(2) **レファレンス事例や郷土資料データベースの充実**

ア **レファレンス（相談業務）件数**

	中央	千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	計
一般	2,961	4,999	3,974	722	4,151	3,111	5,366	25,284
児童	839	1,360	542	359	1,184	1,371	1,379	7,034
計	3,800	6,359	4,516	1,081	5,335	4,482	6,745	32,318

※クイックレファレンス（書架案内や簡単な調査）を含みます。

※北千里分室は千里図書館に、山田分室は山田駅前図書館に含めます。

イ **レファレンス事例のデータベース化**

吹田市立図書館が持っているレファレンス事例を国会のレファレンス協同データベースに登録できるように事前の準備に取り組みました。公開は今後の課題です。

ウ **郷土行政資料の収集保存とデータベース化**

郷土行政資料新規受入数 661冊

新聞等郷土件名データ新規作成件数 1,367件

エ **大学図書館や類縁機関との連携**

大学との連携会議に出席し、情報の共有に努めた。

3大学（関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学）との連携会議に計6回出席。

(3) **行政支援サービス**

ア **公用貸出冊数（市職員への業務用貸出数）**

平成25年度 76冊

イ **行政向けの政策立案支援サービス**

行政職員向け新着図書案内サービスの開始に向け準備に取り組みました。

(4) **児童サービス**

ア **各種図書館講座の充実と文化行事の実施**

平成25年度児童向け講座等行事参加人数			
実績	11,032人	目標値	2,800人

※児童文学関係講座、抱っこで絵本講座を除く

【児童向け講座等行事参加人数内訳】

(ア) おはなし会（「おひざで絵本」をのぞく）

	中央	千里	北千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	山田	計
回数	137	88	14	98	46	36	23	69	9	520
人数	1,245	600	60	507	230	277	178	711	209	4,017

(イ) お楽しみ会、一日図書館員、その他

	中央	千里	北千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	山田	計
回数	28	24	6	14	7	22	19	25	3	148
人数	1,393	645	252	1,295	143	1,411	679	1,017	180	7,015

イ 図書情報の提供

平成25年度冊子発行部数			
実績	12,746部	目標値	13,000部

【情報提供冊子発行部数内訳】

(ア)「おめでとう1年生」配付部数 4,246部

(イ)「もうよんだかな? 2013(第39号)」 8,500部

※「おめでとう1年生」は、市立小学校の1年生全員に利用案内やおすすめ本の紹介の載ったリーフレットを配布し、各図書館で4月に特設コーナーを設置しています。

「もうよんだかな?」は、4、5歳から小学校高学年を対象に、前年に出た本のなかからおすすめの本を図書館の司書が選び冊子にして紹介しています。夏休みに特設コーナーを設置しています。

ウ 児童向けホームページの開設

次期図書館システムでの開設を検討しています。

(5) ヤングアダルト(YA)サービス

※中高生世代向けサービス

ア YAサポーター行事参画状況

中高生世代の行事参加人数			
実績	143人	目標値	40人

【行事参加人数内訳】

(ア) YAサポーター活動状況

中央図書館 9回 参加人数 66名

山田駅前図書館 4回 参加人数 23名

(イ) YAビブリオバトル実施

中央図書館 12月14日 参加人数 31名

山田駅前図書館 3月9日 参加人数 23名

※参加人数は成人を含みます。

イ 「てくてく」の発行部数

平成25年度 4,500部

※「てくてく」は、中高生世代を対象に、前年に出た本のなかからおすすめの本を図書館員が選ぶとともに、中高生世代によるおすすめ本の紹介とイラストなども掲載している冊子です。ミニ版(ダイジェスト版)は、市内中学生全員に配布しています。夏休みに特設コーナーを設置しています。

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

A

〔成果1〕成人、児童サービスともに行事等の参加人数は目標値を大きく上回りました。
多くの人に図書館をPRするとともに、資料の貸出しやその後の図書館利用につながるような取組みを行いました。

〔成果2〕ヤングアダルト（YA）サービスについては、中央図書館と山田駅前図書館で中高生サポーターを中心としてビブリオバトルに取り組むことができました。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

A

〔成果1〕行事等への参加人数の多さは大変評価できます。大学との連携への努力や行政向け支援も、今後の足がかりを作れたことが評価できます。

〔成果2〕国立国会図書館レファレンス協同データベースの参加で、今までのレファレンスの蓄積が全国の図書館の中に位置づけられます。さらに調査相談の業務を進化させて欲しい。

〔課題〕行政支援サービスを推進し、図書館の情報力と司書の能力をアピールして欲しい。
行政や市議会では情報力ある図書館の存在感を示して欲しい。

基本目標 2

生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

1 施設や地域との連携

（1）男女共同参画センター情報ライブラリー、平和祈念資料館などとの連携

平和祈念資料館と千里図書館の連携を目指し、相互に行事案内のポスター掲示を行いました。

（2）児童会館・児童センターとの連携

図書館の保存年限を過ぎた雑誌を約90冊移譲し、有効活用を図りました。

（3）博物館との連携

デジタルアーカイブの将来や資料検索システムの今後について何が協力できるのか

お互いの取組み状況を話し合いました。

(4) 吹田出前講座の充実と活用

平成25年度出前講座等講師派遣実施件数			
実績	12件	目標値	6件

【出前講座等講師派遣内訳】

館名	中央	さんく	ちさと	千里丘	山駅	計
派遣回数	5	1	3	1	2	12
参加人数	145	30	253	115	46	589

ア 図書館出前講座メニュー数 6講座

(5) 地域との連携

- ア 各図書館で児童サービスコーナーに地域の保育所や子育て関連施設のパフレットや逐次刊行物を置くなどして地域情報の共有に努めました。
- イ 千里丘図書館において、地域の3公民館や隣接する施設に行事等の案内を配布し、図書館利用の促進に努めました。

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

C

〔成果〕 出前講座実施件数は目標を大きく上回り達成できました。

〔課題〕 他施設との連携では、現状把握にとどまりました。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

C

〔成果1〕 出前講座が充実していたことは大いに評価できます。

〔成果2〕 出前講座は活発にいろいろな形で取り組まれています。地域の公民館や保育園の関連資料を提供し、「図書館は地域の情報拠点」として地域情報の共有に努力しています。

〔課題〕 吹田市には生涯学習を支援する多くの施設があります。それぞれ厳しい状況にあると思うが、各機関も図書館との連携によって、大きな成果が期待できます。コ

コミュニケーションを大事にしながら、連携を強めて欲しい。

2 自己実現の援助

(1) ボランティア活動の推進

平成25年度ボランティア総数			
実績	550名	目標値	600名

※目標値は平成34年度に1000名登録を目標に、年45名増を目指しています。

ア ボランティア登録状況 25団体 550名（達成状況92%）

※平成24年度 ボランティア登録状況 25団体 555名

イ ボランティア養成状況

(ア) 児童サービス関係

- ・ブックスタートのためのお話ボランティア養成講座 6回 延人数 87人
- ・ブックスタートのためのお話ボランティアスキルアップ講座 1回 62人
- ・おひざで絵本のためのお話ボランティア養成講座 3回 延人数 53人
- ・おひざで絵本のためのお話ボランティアスキルアップ講座 1回 22人

(イ) 障がい者サービス関係

- ・音訳対面朗読ボランティア養成中級講座 21回 延人数 189人
- ・音訳対面朗読スキルアップ講習会 8回 延人数 53人
- ・デージー図書製作・編集・使い方講座 8回 延人数 41人
- ・点訳ボランティア養成上級講座 10回 延人数 70人

ウ 主なボランティア活動状況

- ・ブックスタート実施回数 1197回
- ・おひざで絵本実施回数 433回
- ・対面朗読実施回数 666回
- ・音訳・点訳図書製作数 131タイトル
- ・主催行事（図書館フレンズを除く） 141回
- ・図書館フレンズ活動回数 255回（延参加人数 404人）

【図書館フレンズ活動回数内訳】

	中央	千里	北千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	山田	計
回数	54	23	2	29	11	31	91	14	0	255
人数	103	34	5	34	21	76	114	17	0	404

(2) 学習成果の活用の機会提供

千里図書館で開催した自分史講座の受講生による「吹田自分史の会」が設立され、文集ができました。文集は図書館に寄贈され郷土資料として所蔵しています。

(3) 各事業への市民参画による企画立案

ア 市民参画による行事の企画

取組みができていません。

イ 市民団体等の企画による行事

図書館名	ボランティアグループ等の企画による実施行事	企画グループ等名称
千里	親子で六角凧作り	手作り絵本夢工房
ちさと	千里山今昔展 科学あそび	千里山まちづくり協議会 図書館ともの会
千里丘	新春朗読会	朗読工房
山駅	「さわる絵本」展	NPO法人弱視の子どもたちに絵本を

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

〔成果1〕平成24年度に比較してボランティアの登録人数はわずかに減少しましたが、図書館で養成しているボランティア数は増加しました。

〔成果2〕市民団体等の企画による行事を主催、共催等様々な形で実施しました。また「図書館講座じゅずつなぎ」で吹田にゆかりのある人や地域住民を講師に招いた講座を実施して市民参画による主催事業の充実に努めました。

〔課題〕ボランティア登録数が目標に達しませんでした。

〔課題〕催し物や各種講座等の企画段階からの市民参画を目指します。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

〔成果1〕図書館でのボランティア活動は図書館と市民の協働として定着してきました。「図書館フレンズ」も自立的な活動を期待したい。「吹田自分史の会」は図書館の場で継続されていることも評価したい。

〔成果2〕ボランティア登録者数は減少していますが、既存の団体活動への支援を充実することでカバーできているのではないのでしょうか。

〔課題〕市民団体の企画として、「朗読工房」などふさわしい活動が増えているが、市民参画の行事の企画に工夫がいらいます。中央図書館再整備の議論の過程で、市民参画の場面を検討したい。

3 高齢者・障がい者サービスの充実

(1) 視覚障がい者サービス

ア 対面朗読実施回数 666回

※平成24年度 932回

イ 音訳図書・点訳図書製作件数 126タイトル

(ア) テープ図書 55タイトル ※平成24年度 82タイトル

(イ) デイジー図書 58タイトル ※平成24年度 79タイトル

(ウ) 点訳図書 13タイトル ※平成24年度 16タイトル

エ 音訳図書貸出件数 1,922タイトル

※平成24年度 1,784タイトル

(2) 来館困難者へのサービス

ア 千里丘図書館でデイサービス型高齢者施設への訪問事業を行いました。紙芝居の読み聞かせや本の紹介を行いました。 6回 参加人数 89人

イ 自動車文庫による福祉施設等への貸出 11施設 貸出冊数 6,171冊

ウ 身体障がい者等への郵送貸出
検討できませんでした。

(3) 聴覚障がい者サービス

ア 職員の手話講座受講
1名受講しました。

イ 講座への手話ボランティアの配置
1回(10月20日「子どもと本のまつり秋の講演会」)

(4) 障がい児サービス

ア 「さわる絵本展」(山田駅前図書館) 参加人数150人

イ マルチメディアデイジーの導入

平成26年度からの貸出に向けて環境整備を実施しました。

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

〔成果1〕平成24年度に比較して音訳図書貸出件数は7.7%増加しました。

〔成果2〕マルチメディアデイジー貸出実施に向けての準備を実施しました。

〔課題1〕対面朗読実施件数、音訳・点訳図書の製作件数がともに減少しました。新規利用者の開拓が必要です。

〔課題2〕来館困難者への郵送貸出事業の研究を行う必要があります。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

C

〔成果〕音訳図書の貸出が増加しています。ダイジー図書の製作について、吹田市立図書館は積極的に取り組み、ボランティアの養成にも取り組んできました。

〔課題1〕「著作権法第37条3項」の改正（※）により、公共図書館での障がい者サービスの取り組み強化がさらに重要となっている。障がい者のデジタル利用は広がっています。マルチメディアダイジーは個別に障がい者に状況に応じて活用されると大きな成果を生むと報告されています。関係機関と連携しながら、一層の普及をはかって欲しい。

※平成21年（2009年）の著作権法第37条第3項の改正により、図書館も視覚障がい者のための録音図書などの複製等について、著作権者の許諾なく作成できるようになりました。また、作成した物の提供対象者についても視覚障がい者だけでなく、読字障がいの方や知的障がいの方など、文字や活字の形では情報を受け取るのが難しい方々まで広がりました。それまでは、図書館では著作物ごとに著作権者への許諾を申請して許可を得て作成していました。（事務局注）

〔課題2〕高齢者施設への多様なサービスと郵送貸出の実現が課題だと思えます。

4 特色あるサービス

（1）ビジネス支援サービス

江坂図書館において関連資料の展示と有料データベース「日経テレコン」を提供しました。

（2）多文化サービス

ア 多言語による読み聞かせ等行事の実施

※千里図書館で実施

平成25年度多言語による読み聞かせ等行事回数			
実績	4回	目標値	5回

【行事等内訳】

（ア）外国人のための千里図書館見学ツアー（共催：吹田市国際交流協会）1回 7名参加

（イ）タイ語で絵本の読み聞かせ 1回 17名参加

（ウ）中国語のお話を楽しもう 1回 2名参加

（エ）英語でえほんを楽しもう 1回 14名参加

イ 外国語資料の充実

外国語所蔵数 5,754冊

※平成24年度 5,486冊 年間増加冊数 268冊

(3) 健康・医療情報サービス

千里図書館において医療コーナーを設置し、医学書や、闘病記などを病気の種類ごとに分類して見やすく並べて貸出しています。

(4) 就労・就業支援

さんくす図書館でコーナーを設置し、資格取得関係の図書や、「JOB ナビすいた」などの関連施設のパフレット等を置いています。

※「JOB ナビすいた」は、吹田市に在住、在学、在勤の方を対象にした市の就労支援センターです。仕事の紹介の他、就労のためのセミナーや相談コーナーなどがあります。

(5) 地域経済への貢献

平成25年度実施事業数			
実施事業数	5	目標事業数	5

【実施事業内訳】

ア Jリーグのガンバ大阪との連携事業（3事業）

(ア) リサイクル本フェア 参加人数 300人

吹田市民デーに合わせてスタジアム前で試合開始前にリサイクル本のフェアを実施しました。普段図書館に来ない人を呼び込むと同時に、吹田市のことをPRすることができました。

(イ) 読書でガンバ 参加延人数 16人

中高生（18歳以下の方なら誰でも）がガンバ大阪の選手に読書についてのインタビューを行い、レポートにしました。作成したレポートをホームページで公開するとともに、各館で展示を行いました。

(ウ) 「ガンバリマシタ！2013年の軌跡」

ガンバ大阪がJ1リーグへの昇格を祝して1年間の試合を振り返り、写真やグッズ、図書を紹介する展示を、中央、山田駅前、千里山・佐井寺の各図書館を巡回して実施しました。

イ 広告事業（2事業）

(ア) レシート広告 4社 66,000円

※貸出の時にわたすレシートに広告を掲載するというものです。

平成24年5月から実施。平成24年度 1社 55,000円

(イ) 図書館ホームページ、バナー広告 2社 42,000円

※図書館のホームページに広告枠を設け掲載するというものです。

平成24年12月から実施 平成24年度 1社 10,000円

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

〔成果〕 千里図書館の施設の特徴を生かし同じ施設内の国際交流協会と多文化サービスを共催するとともに、今までなかった外国語による絵本の読み聞かせを行うなど新しい取り組みを行いました。

〔課題〕 ビジネス支援は、地域の企業や勤務の方に対する具体的な働きかけ等、人の顔が見えるサービスにつなげていく必要があります。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

C

〔成果1〕 吹田独自の特色あるサービスに努力がみられることは評価できます。

〔成果2〕 国際交流協会との連携は今後も新しい取組みに発展できると期待したい。ガンバ大阪との取組みはとても魅力があり、若い人へのアピール度も高い。

〔課題〕 ビジネス支援への取組みは、もっと工夫が必要です。吹田市でも中小企業セミナーや起業支援に取り組んでいるので、関連部署との連携で広がりを持てるのではないかと。

基本目標 3

子育て支援や学校の連携を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。（「子ども読書活動推進計画（改訂）」の推進）

1 子ども読書活動支援センター機能の充実

(1) 子育て支援サービス

平成25年度ブックスタートのひろば、おひざで絵本等参加人数			
実績	19,914人	目標値	23,000人

【参加人数内訳】

ア ブックスタート事業

年度	配布率	ひろば開催回数	ひろば参加人数
平成25年度	80%	1,197回	15,065人
平成24年度	83.4%	1,081回	14,099人

イ おひざで絵本 ブックスタートを終了した2、3歳児とその保護者を対象にした読み聞かせなど

年度	開催回数	参加人数
平成25年度	433回	4,044人
平成24年度	407回	3,465人

ウ 抱っこで絵本講座 42回 参加人数 422名

※1歳の幼児とその保護者を対象に絵本の読み方のコツを伝授する3回連続講座

平成24年度 36回 参加人数 423名

エ 保健師さんのなんでも相談 3館 5回 参加人数 135名

0、1歳児の幼児とその保護者を対象にブックスタートのひろばの後実施しました。子育て支援として気軽に子育てについての質問ができる環境の提供ができました。平成24年度から実施していますが、保健センターの希望もあり、今年度は保健センターから遠い図書館で実施しました。

江坂 3回 参加人数 101名

千里丘 1回 参加人数 16名

山田分室 1回 参加人数 18名

※平成24年度 5館 6回 参加人数 160名

オ 親子で絵本とわらべうた 20回 参加人数 248名

※乳幼児とその保護者を対象に、絵本やわらべうたを楽しむ5回連続講座（中央で開催）。

(2) 学校連携

平成25年度図書館見学等学校連携事業参加人数			
実績	2,315人	目標値	2,300人

【参加人数内訳】

事業等名称	回数等	参加人数
図書館見学（※1）	28回	1,393人
ごりまる学校訪問（※2）	4回	266人
ブックトーク・学校訪問（※3）	9回	524人
職業体験（※4）	27回	132人

※1 図書館見学：学年単位で図書館見学を受け入れ、図書館の利用案内、パネルシアター、大型紙芝居、絵本の読み聞かせ、ブックトークによる本の紹介などを行う

事業です。町たんけん授業や、職業インタビューも含んでいます。

- ※2 ごりまる学校訪問：自動車文庫の車で、司書が学校を訪問して、図書館の利用案内、パネルシアターなど先生と相談し実施しています。
- ※3 ブックトーク・学校訪問：図書館から各園・校に出向き利用方法の説明や、読み聞かせ、ブックトークなどを行う。
- ※4 職業体験：市内の中学校から職業体験生を1回1校1～5人、1～3日で受入れ、貸出、返却などのカウンター業務の他、図書を書架に並べたり本にビニールフィルムを貼るなどの作業や絵本・紙芝居の読み聞かせなどの実習を行います。

ア 団体貸出 253件 5,002冊

イ ごりまる便 22校 880冊

※月1回自動車文庫のバスで団体貸出の本を学校に配達し、回収を行う事業です。

ウ 「もうよんだかな」セットの貸出 22校 5,760冊

過去の夏休み文庫で紹介した本（「もうよんだかな？」と「てくてく」に掲載分）を学年に合わせて40冊をパックして学校に1学期間貸出しました。自動車文庫のバスで配達と回収を行いました。

エ リサイクル図書の移譲 23校 1,562冊

図書館で使わなくなった図書を、市民に提供する前に案内し移譲しました。

(3) 児童会館・児童センターとの連携

図書館で使わなくなった図書や雑誌を移譲し、資料の有効活用を図りました。

(4) 講座・講演会の開催

平成25年度児童文学に係る講座・講演会等の参加者数			
実績	936人	目標値	1,700人

【児童文学に係る講座講演会参加者内訳】

ア 子どもと本の講座

(ア)「絵本の「絵」をよむこと」 講師 香曾我部 秀幸 氏

5回 参加延人数 264人

(イ)「ようこそ物語の世界へ」 講師 川内 五十子 氏

5回 参加延人数 166人

イ 講演会

「第30回子どもと本のまつり秋の講演会」 講師 市居 みか 氏

10月20日 参加延人数 59人

ウ 展示会

「第30回子どもと本のまつり 市居みかさん原画展」

10月17日～10月21日 参加延人数 377人

エ 後援事業

「アーサー・ビナード&木坂涼講演会」吹田子どもの本連絡会主催（子どもゆめ基

金助成事業)

12月8日 70名

(5) 吹田市出前講座その他講師派遣

出前講座、講師派遣による読書活動支援者の育成			
実績	589人	目標値	430人

【参加人数内訳】

中央	5回	参加人数	145人
さんくす	1回	参加人数	30人
千里山・佐井寺	3回	参加人数	253人
千里丘	1回	参加人数	115人
山田駅前	2回	参加人数	46人

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

〔成果1〕保健師のなんでも相談は、保健センターから遠く離れている館に絞り、普段利用できない方を中心に支援できました。

〔成果2〕図書館のホームページに「学校支援のページ」を作成し、学校や幼稚園、保育園の先生に図書館の利用の促進を図ることができました。

〔成果3〕公民館や児童センター、地域への出前講座、講師派遣を行い、参加人数は目標値を超えました。

〔課題〕学校への貸出については、自動車文庫の車を活用するなど努力していますが、定期的な物流の確保が課題です。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

〔成果〕子育て支援サービスは全域で継続的な取組みが行われています。保健センターとの連携も成果を生んでいます。“ごりまる学校訪問”図書館見学など、子ども達の身近に読書環境のある状況をつくる努力をしています。

〔課題1〕ブックスタートの配布率が前年比で減少に転じたことは残念です。選書に再考

が必要です。学校訪問回数をもっと多くなるよう努力が必要です。

〔課題2〕先に図書館協議会は「学校連携を進めるアイデア集～子どもの読書活動推進のために～」を議論したように、吹田市立図書館の小中学校への支援はもっとも重要と考えています。吹田市では「学校図書館図書標準達成率」に努力されています。学校図書館の資料は児童生徒が自分で調べ、考える、学習センターとして機能するためにあります。学校図書館の充実した資料が児童生徒と教員に活用されるには学校図書館の「読書活動支援者」（学校司書）配置が充分で適切な状況であることを望みたい。改正「学校図書館法」の施行が迫っています。子どもの読書活動の推進は地域教育部の努力だけでは進まない。全市的な取組みをおおいに期待しています。充実した学校図書館と市立図書館の環境で成長する自立した吹田市民に育つために、将来を見据えた教育施策の取組みをお願いしたい。

	平成 25 年度 図書館事業評価一覧	自己評価	協議会評価
基本目標 1	地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。		
取組み	1 図書館施設及びサービス網の整備	C	C
	2 利用促進	B	B
	3 資料と情報の提供	A	A
基本目標 2	生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。		
取組み	1 施設や地域との連携	C	C
	2 自己実現の援助	B	B
	3 高齢者・障がい者サービスの充実	B	C
	4 特色あるサービス	B	C
基本目標 3	子育てや学校の支援を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。		
取組み	1 子ども読書活動支援センター機能の充実	B	B
総合評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <p>平成 25 年度は、マルチメディアデジターの貸出、行政支援サービス及び大阪市との広域連携の実施など平成 26 年度に向けての準備を行い一定の成果がありました。一方で、他施設との連携については、なかなか進展せず、あらためてどのように進めていくか再考する必要があります。</p> <p>【図書館協議会の評価】</p> <p>さまざまなサービスにおいて職員の努力がみられることは大いに評価できます。さらなる努力に期待します。</p> <p>「吹田市立図書館基本構想」では 10 年間図書館活動指針、サービス計画、三つの基本目標が掲げられています。初年度としてまとめられた平成 25 年度「点検・評価報告書」は数値のみにかたよることなく「アクションプラン」にそったサービスの広がりを俯瞰できる客観的な資料となっています。</p> <p>ホームページ「吹田市の図書館活動」に紹介されている事業を見ても、「いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービス」をめざしているこ</p>	B	B

	<p>とが実感でき、「図書館って、おもしろそう！」と思ってもらえます。</p> <p>中央図書館を中心に各図書館・分室が地域性を大切にしながら、一体の図書館システム組織として機能しています。</p>		
--	---	--	--

4 アクションプラン

平成25年(2013年)3月作成

サービス計画の 三つの基本目標	対応 章節 番号	課題	事業名	具体策・方法	実施時期	目標達成の指標			参考指標
						項目	目標	目標値	
(1) 地域の情報拠点として、資料・情報をいつでも、どこでも、誰にでも、提供する市民本位のサービス	1 3-1-(2)	図書館施設及びサービス網の整備	中央館の充実	中央館の再整備計画の策定を目指し、関係部署との調整を図る	概ね10年以内	再整備計画の策定	実施		合計延べ床面積
	1 3-2-(1)			新・中央館建設時に書庫機能の整備を図る	概ね10年以内	再整備計画の策定	実施		書庫収容可能冊数
	1 3-1-(1)		利用不便地域の解消	岸部地域への施設整備を行い図書館サービス網の完成を図る	概ね10年以内	再整備計画の策定	実施		図書館数
	2 3-5-(6)			駐車場所の見直し並びに月2回巡回の実施と貸出方法を補完するシステムの検討	概ね10年以内	巡回回数	経年比増		駐車場数
	2 3-4-(4)		広域利用の推進	北摂地域全体の広域利用システムの検討や大阪市との広域利用	5年以内に実施	各自治体との話し合いは進んだか	実施		広域利用している吹田市民の数
	2 3-4-(2)	利用促進	年間貸出目標の達成	図書や視聴覚資料およびデータベース等の収集と利用促進で貸出数の増加を図る	概ね10年以内	貸出点数	数値目標達成	420万	登録者数・蔵書冊数
	2 3-5-(7)		広報・広告事業の推進	ホームページコンテンツの充実とTwitterやUstreamの利用で情報発信機能の向上を図る	2～3年で実施	コンテンツの更新回数	成果物の発行		アクセス数
	2 3-5-(7)			Facebookによる広報誌の発行などで広報活動の充実を図る	2～3年で実施	コンテンツの更新回数	成果物の発行		アクセス数
	2 3-4-(7)			広告事業や寄付金募集などで地域経済の発展に寄与し同時に資料充実を図る	一部実施中	参加・協力企業の数	経年比増		
	2 3-4-(2)		足を運べない人へのサービス	中央図書館の再整備に合わせて郵送貸出の実施を目指す	概ね10年以内	郵送システムの構築	実施		郵送貸出登録者数
	2 3-5-(7)		電算システム更新時に電子図書の導入を行う	5年以内に実施	ハイブリッド型図書館の実現	実施		電子図書導入冊数、同利用数	
	2 3-5-(1)	資料と情報の提供	成人サービス	おすすめ本リストやパスファインダー等で読書の楽しさや図書館利用の利便さをアピールし貸出増を目指す	2～3年で実施	各種リスト・パスファインダーの発行	成果物の発行		発行点数
	2 3-5-(1)			一般成人向けの講座・講演会の開催や催し等を開催して、自己学習の支援を図る	一部実施中	講座等参加者数	数値目標達成	1,200	
	2 3-5-(1)			読書会の開催等を通じて新規利用者の獲得と熱心な利用者の確保を目指す	2～3年で実施	年間開催回数	数値目標達成	2	参加者人数
	2 3-5-(1)		地域資料の収集・保存と活用	郷土・行政資料の収集・保存とデジタル化を進め、リスト化・データベース化をして活用を図る	5年以内に実施	年1回以上のデータ更新	数値目標達成	6	受入れ冊数
	2 3-4-(6)		レファレンス(相談業務)	全館で専用カウンターの運用及びレファレンスデータベースの構築と有効利用	一部実施中	レファレンス受付件数	経年比増		専用カウンターの設置
	2 3-4-(6)		行政支援サービス	本庁舎内への連絡窓口等の設置を行い物流の確保とレファレンスの受付で政策立案への支援を行う	概ね10年以内	相談受付件数	経年比増		
	2 3-5-(2)		児童サービス	お話し会などの実施で読書活動を支援する	一部実施中	行事参加者数	数値目標達成	2,800	
	2 3-5-(2)			お楽しみ会、一日図書館員、その他児童向け行事の実施で図書館利用促進を目指す	一部実施中	行事参加者数	数値目標達成		
	2 3-5-(2)			「おめでとう1年生」「もうよんだかな」「市民が選ぶ子どもたちに読ませたい100+5冊」を発行し読書活動を支援する	一部実施中	発行部数	数値目標達成	13,000	学校への貸出セット送付冊数
	2 3-5-(2)			児童向けホームページの開設で子どもの読書活動を支援する	5年以内に実施	ホームページコンテンツの作成	成果物の発行		アクセス数
	2 3-5-(3)	ヤングアダルト(YA)サービス	「てくてく」の配布、YAサポーターによる行事の自主企画や直接参加を通じてYA層の利用増と定着を目指す	一部実施中	行事参加人数	数値目標達成	40	YA世代の利用者数	
	(2) 生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにします	2 3-4-(4)	施設や地域との連携	男女共同参画センター情報ライブラリー・平和祈念資料室との連携	男女共同参画センター情報ライブラリー・平和祈念資料館などとの情報共有を目指す	5年以内に実施	横断検索システム・蔵書リストの作成	成果物の発行	
		2 3-4-(4)		児童会館・児童センターとの連携	児童会館・児童センターとの情報や協力関係の充実を目指す	5年以内に実施	団体貸出冊数、講師派遣回数	経年比増	
		2 3-4-(4)		博物館との連携	博物館との情報共有を図るとともに市民協働で地域資料アーカイブズの構築を目指す	5年以内に実施	リストやホームページコンテンツの作成	成果物の発行	
2 3-4-(4)		吹田市出前講座の充実と活用		吹田市出前講座の活用を図るとともに公民館などへの講師派遣等を通じて生涯学習推進体制の充実を図る	一部実施中	出前講座の実施件数	数値目標達成	6	出前講座の参加者数
2 3-4-(8)		地域との連携		市民参加の図書館活動を目指し利用者懇談会の実施や、自治会への働きかけを通じて地域づくりに貢献する	2～3年で実施	懇談会実施回数	数値目標達成	2	懇談会参加者数
2 3-4-(8)		自己実現の援助	ボランティア活動の推進	ボランティア団体によるリサイクル本の有料販売などで自主財源の確保とボランティア活動の活性化を図る	5年以内に実施	ボランティア総数	数値目標達成	1,000	協力ボランティア団体数
2 3-5-(1)			学習成果の活用の機会の提供	読書会や講座・講演会から生まれた自主活動の支援等を通じて学習成果の活用の場の提供を目指す	5年以内に実施	毎年活動の場の数を増やす	数値目標達成	1	活動参加者数
2 3-5-(1)			各種事業への市民参画	市民の参画で各種事業の企画立案を行う	2～3年で実施	企画数	数値目標達成	1	参加者数
2 3-5-(4)		高齢者・障がい者サービスの充実	視覚障がい者サービス	対面朗読サービスの実施と音訳図書や点字図書の製作	一部実施中	音訳図書貸出数及び対面朗読実施回数	数値目標達成	2,800	音訳・点訳図書製作点数
2 3-5-(4)			来館困難者へのサービス	本の宅配や郵送貸出ならびに施設訪問を通じて在宅・施設入所者等へのサービス提供を目指す	5年以内に実施	貸出方法の確立	実施		
2 3-5-(4)			聴覚障がい者サービス	手話ボランティアの配置	5年以内に実施	利用人数	実施		
2 3-5-(4)			障がい児サービス	関連施設や支援学校との連携を図りながら触る絵本やマルチメディアデイジーの資料充実を図る	一部実施中	資料の充実	経年比増		
2 3-5-(5)		特色あるサービス	ビジネス支援サービス	市内企業や関連機関との連携および資料の充実	一部実施中	関連施設との共催事業	数値目標達成	1	関連資料の充実
2 3-5-(5)			多文化サービス	外国語資料の充実や子ども向けの読み聞かせ会などの実施で在日外国人などの支援と相互理解を図る	一部実施中	読み聞かせ等年間行事回数	数値目標達成	2	外国語資料所蔵冊数
2 3-5-(5)			健康・医療情報サービス	保険・医療機関との連携を図り、資料の充実や健康・医療情報コーナーを設置する	一部実施中	関係機関との年間連携回数	数値目標達成	2	関連資料の所蔵冊数
2 3-5-(5)	就労・就業支援		JOBナビすいた・JOBカフェすいたとの連携を図り、ハロー！ジョブ・コーナーの設置と資料の充実を図る	一部実施中	関係機関との連携による年間資料リスト作成点数	成果物の発行	1	関連資料の所蔵冊数	
2 3-5-(5)	地域経済への貢献		ガンバ大阪との共催事業や広告事業で地域の活性化や地域経済への貢献を目指す	一部実施中	事業数	数値目標達成	5		
(3) 子育て支援や学校との連携を通して、子どもの健やかな成長に役立ちます	2 3-5-(2)	子ども読書活動支援センター機能の充実	子育て支援サービス	ブックスタート事業の実施とその後の年齢別読み聞かせなどのフォローによる乳幼児向けのサービスの展開	一部実施中	全館のブックスタートのひろばや読み聞かせの参加者数	数値目標達成	23,000	ブックスタート絵本の配布率
	2 3-5-(2)		学校連携	図書館見学・職業体験授業・学校訪問の他、講師派遣ならびに調べ学習の支援で学校との連携を図る	一部実施中	参加人数	数値目標達成	2,300	団体貸出冊数
	2 3-5-(2)		児童会館・児童センターの支援	児童会館・児童センターとの連携でいつでもどこでも読書活動ができる環境整備を図る	5年以内に実施	出前講座等の参加者数	数値目標達成		
	2 3-5-(2)		講座・講演会の開催・後援	児童文学に係る講座・講演会の開催や展示会他を開催して、児童文学の普及と読書活動支援者の育成を図る	一部実施中	講演会等参加者数	数値目標達成	1,700	
	2 3-5-(2)		吹田市出前講座その他講師派遣	学校図書館や幼稚園・保育園ならびに地域・家庭文庫への講師派遣で読書活動支援者の育成を図る	一部実施中	講座等参加者数	数値目標達成	430	講師派遣回数